

## 1 「好感」から「共感」へ。とよなかの景観まちづくり

「とよなかの景観まちづくり」は豊中で暮らす人、お店や工場を営む人、建物を設計したり工事をする事業者、NPO等で活動する人である“みなさん”と、市役所で公共施設を整備したり、景観やまちづくりの担当者等“市”が、みんなで力を合わせていく必要があります。

また、“みなさん”と“市”が力を合わせるため、市の大切な役割として、景観まちづくりに取り組むための意識醸成へのサポートや、助言を行っていくことが最も重要です。

前の章では特に“市”が主体的に取り組む施策を記載し、この章では、“みなさん”が景観まちづくりに対する意識を醸成していくために大切な考え方を解説しています。

身近な場所から“いいね！”と感じる景観（＝「好感」）を見つけ、楽しむことができると、まちへの興味や愛着も高まります。さらにひとりの好感がみんなの好感（＝「共感」）になり、理解し合えるなかまと取り組みの輪を広げていけば、まもり、つくり、そだて、いかしていく「とよなかの景観まちづくり」につながります。

「とよなかの景観まちづくり」に向けて、ひとりひとりが少しずつ、できることから取り組んでいきましょう。そして、あなたも「とよなかの景観まちづくり」を実践していく景観スタイリストのひとりになりませんか？

## とよなかの景観まちづくりの進め方

01

## 「好感」を見つけよう

身近な場所から“いいね！”と感じる景観「好感」を見つけませんか？そうすれば新たな楽しみ事が増えますよ！

ここでは、好感度の見つけ方や、楽しみ方の例を紹介しています。

24～25 ページ

02

## 「好感」を「共感」へ

「好感」は、ひとりでも増やすことができますよ。そしてあなたの「好感」がみんなの「共感」に高まれば、まちはもっと素敵になりますね。

ここでは、ひとりでも簡単にできる「好感」の増やし方をご紹介します。

26 ページ

03

## 「共感」を楽しもう

なかまで「共感」を楽しもう！

ここでは、なかまづくりや、なかまで「共感」を楽しむための取り組み例をご紹介します。

27～28 ページ

04

## 「共感」の輪を広げていこう

なかまと一緒なら、まち全体に「共感」の輪を広げることができますよ！

ここでは、なかまと一緒に“いいね！”にあふれた景観まちづくりにつないでいくための取り組みのヒントをご紹介します。

29 ページ

### 好感の持てる豊中をめざして

豊中にも歴史的な“いわれ”のある場所やなつかしさを感じる場所があります。雑誌で紹介されているお店やおしゃれなデートスポットもあり、あなたの自慢の場所になっていたりしませんか。改めてまちを見てみると、なにげないまちのなかにも、あなたが人に自慢できるような好感の持てる場所があるはずです。

好感の持てる場所をみんながたくさん知っているまち。みんなが自分のまちは素敵だと感じながら暮らすまち。その気持ちをみんなが誇れるものとしてお互いに共有できれば、まちを訪れた人にもきっと伝わります。住んでいる人が満足できるまち、訪れる人があこがれるまち。そんな豊中をめざしませんか。



キャンドルが生み出す幻想的な空間



地域に潤いをもたらすアプローチ空間  
(豊中まちなみ市民賞受賞作品)



花で彩られた散歩道  
(豊中まちなみ市民賞受賞作品)

### 好感の持てるまちと景観のカンケイ

かつて、人は自然との関わりを大切にしながら暮らしていました。そんな暮らしの中では、特別に意識しなくても地域らしい景観が生み出されていました。しかし、自然や地域との関わり方が変化した現在は、普通の暮らしが地域らしい景観を台無しにしてしまっていることもあります。

自然や地域との関わりを意識しながら暮らしていくことが、地域らしい景観をつくることにもつながります。好感の持てる場所を好感の持てる景観にしていく、そのためには私たちが自然や地域との関わり方を考えていくことが大切です。



竹林をまもりそだてる活動  
(千里竹の会)



自然を感じながらゆったりと  
過ごす川沿いの散歩道



緑化リーダー会による  
花いっぱいのもちづくり



地域の企業による道路の清掃活動  
(大阪信用金庫 豊中支店)

## 3

## とよなかの景観まちづくりの進め方

とよなかの景観まちづくりは、ひとりひとりが身近な「好感」を見つけ、それをみんなの「共感」に変え、楽しみ広げていくことで進めていきます。

01

「好感」を見つけよう

02

「好感」を「共感」へ

03

「共感」を楽しもう

04

「共感」の輪を広げていこう

## ～いいものを見つけよう～

あなたの身近な場所から、“いいね！”と感じる景観(＝「好感」)を見つけることから始めてみませんか。

あなたなりのやり方で楽しむのがいいですね。

## ●自然の地形からを見つける

身近なところにも「坂」や「川」、「丘」があります。刀根山や宮山等、市街地の中に「山」もあります。自宅の周りで地形を感じながら歩いてみましょう。微妙な高低差に気づいたり、思いがけず見晴らしの良い場所を見つけたり…。新たな「好感」に出会えるかもしれません。



微妙な坂道を感じる



川は身近にある自然



高低差のある水辺の住宅地

## ●土地の記憶からを見つける

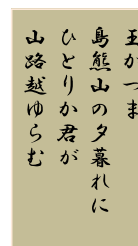
自分のまちの地名の由来を調べてみませんか。先人の風土への思いや、地域のなりたちを読み取れるかも…。地名をひもといて、まちの歴史からも景観を楽しむことができます。

## ●より深く楽しむために ～背景を知る～

景観を見たときに心の中に思い起こされるものは、見る人の知識や体験によっても異なります。知識や体験を豊かにし、背景にあるものを知ることで景観をより深く楽しむことができます。景観のなりたちや背景を読み取れば、好感の持てる景観の良さや、いまひとつとと思っている景観の理由がよりはっきりとわかってくるのではないのでしょうか。

〈万葉集にもうたわれている島熊山〉

万葉集には島熊山をうたった歌があります。島熊山の夕陽の風景は、この歌を知っているとより感慨深く味わうことができます。



島熊山から見た景色



## ●自分のまちを楽しもう

家からの眺めや、通勤通学やお買いものの道すがら、まずはあなたが暮らすまちをじっくり見てみましょう。自分のまちを楽しむためにまち歩きに出かけてみませんか。

まち歩きでこんなところに着目してみるのもおもしろいかも！

- どのお宅の玄関先がおしゃれかな？
- 建物の形や色、材料はどんなのがあるかな？
- 親しみや温かみのあるしつらはどんなのかな？

まち歩きの前準備  
チェックリスト

- 地図
- カメラ（見つけたものを撮影します）
- メモ帳（気づいたことはメモしましょう）
- 水筒
- 歩きやすい靴

## ●「好感の種」を見つけよう

なにげない風景の中に、いつもは気づかない「好感の種（候補）」をきっと見つけることができますよ。たまには「好感の種」を見つけに隣町に行ってみるのもいいかもしれません。隣町のいいところ、あなたが住むまちのいいところ、いろんな姿が見えてくるかも…。

木陰のある道、眺めの良い場所、すてきなお店等、身近なまちであなたが「いいね！」と思ったところを改めて見てみましょう。どんなところが目にとまりましたか。どこが良いのか、考えてみましょう。「これは良くない」と思ったところと見比べてみるのもいいかもしれません。

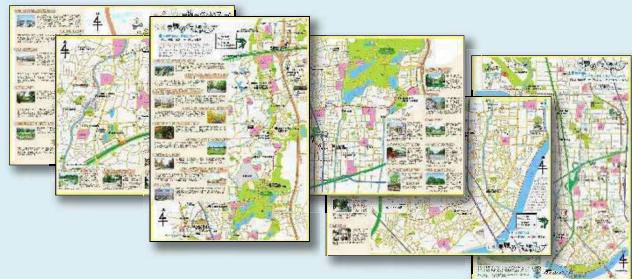
### 豊中市の事例紹介

- ・ 景観まちづくりへの意識の向上（景観スポットの発信）（関連ページ P. 7）

市では、市内の魅力的な景観を紹介する『とよなか百景』を発行し、さらに冊子に掲載されている代表的なスポットを巡るまち歩きマップ『景観めぐるんマップ』をホームページで公開しています。『とよなか百景』を通して、身近にある魅力的な景観を再発見してください♪



とよなか百景  
まもり・つくり・そだて・いかす景観 2017



景観めぐるんマップ全6コース  
Aコース～Fコース

※とよなか百景に選定されているスポットの位置は市ホームページの地図情報で確認できます。

01

「好感」を見つけよう

02

「好感」を「共感」へ

03

「共感」を楽しもう

04

「共感」の輪を広げていこう

### ～いいものを共有しよう～

好感の持てる景観を増やしていくために、ひとりでもできることがたくさんあります。簡単にできることから取り組んでみてはいかがでしょうか。そして、あなたの「好感」がみんなも“いいね！”と思う「好感」になれば、それは「共感」として高まり合って、まちはもっと素敵になりますね。

#### ●身近にできることをやってみよう

どんなところが良いのかわかったら、今度は身近なところを良くするために工夫してみましょう。小さなことでもかまいません。

#### あなたの お家

- あなたのお家も通りから見られていることを忘れていませんか？
- 玄関先はおしゃれかな？窓辺がさびしくないですか？
- もっとあなたらしいお家にするためにはどうしたらいいでしょう？
- ご近所さんに「うちもやってみようかな？」なんて言われたら、うれしいですね。

#### あなたの お店

- あなたのお店はどんなふうに見えていますか？おもてなしの気持ちが表れていますか？
- 看板はいいデザインですか？量は多すぎませんか？看板を付けている場所はどうですか？
- もっとおしゃれにするためにはどうしたらいいでしょう？
- しゃれた店構えだと、雑誌の取材が増えるかも…。そうしたら、さらに“いいね！”と思うお客様が！

#### あなたの 事業所・ 工場

- 自慢できる事業所になっていますか？ お客様や取引先を気持ちよくお迎えできていますか？
- よけいなものが通りから見えていませんか？サインはどうですか？
- もっとよくするにはどうしたらいいでしょう？
- 「こんなすてきな会社で働いてみたいな」なんて言われると仕事の活力にもつながりますよ。



すっきりきれいなアプローチで  
道行く人にも心地良さを演出しましょう



家の周りに花を咲かせましょう

01

「好感」を見つけよう

02

「好感」を「共感」へ

03

「共感」を楽しもう

04

「共感」の輪を広げていこう

## ～なかまを見つけよう～

ひとりでできることもたくさんありますが、共感を楽しめば、自然となかまも集まります。共感を楽しむことは、なかまづくりの第一歩！そして、なかまと一緒にやれば、さらに楽しみや取り組みの幅を広げることができます。そんな取り組み方の例をご紹介します。

なかまを  
見つける

- ・市役所等が開催する景観まちづくりのセミナーや、まち歩き等のイベントに参加してみましよう。気の合うなかまが見つかるかもしれません。
- ・市内で活動されている市民の団体の中には、市役所の取り組みに参加したことがきっかけで活動が始まったという例もたくさんあります。

みんなで  
まち歩き  
をする

- ・何人かのなかまと一緒に、まち探検やタウンウォッチングをやってみましよう。自分とは違う視点でまちを見る人もいたりして、ひとりの時とはまた違った楽しみ方ができます。

みんなで  
まちを  
楽しむ

- ・みんなの関心のあるテーマでまち歩きをするとさらに楽しめます。食べ歩きでも、歴史探訪でも、写真撮影でも。まちを楽しむことは景観を楽しむことにもつながります。



地域の歴史をひもときながらのまち歩き

おとなりさん  
と一緒に  
通りを飾る

- ・玄関先や窓辺、敷際に花やみどりを飾ったり、夜にイルミネーションを飾ったり。自宅の前の通りを素敵にする取り組みも、おとなりさんと一緒にやれば効果は倍増します。



通りに沿ってみんなで緑化しています  
(東豊中町の緑地協定)

自慢の庭を  
公開する

- ・ガーデニング好きのなかまと一緒に、自宅の庭を開放して自由に見てもらおうオープンガーデンという取り組みもあります。うまくPRすれば思いもよらない遠いところから見に来てくれる人もいて、訪れてくれた人との会話も楽しいものです。



埋もれた  
いいものに  
光を当てる

・みんなで見つけたいいものを多くの人に知らせましょう。互いに情報交換すればあなたの好感の持てる景観もどんどん増えること間違いなし。マップや冊子をつくったり、キャンドルイベントに取り組んでいるグループもあります。いろんな情報を交換してまちを楽しみましょう。

誰でも参加できるイベントを企画する

・あなたとなかまの楽しみをもっと広げましょう。誰でも参加できる楽しいイベントを企画すれば、たくさんの人が来てくれるかもしれません。おすすめのまちを体験するおもしろいプログラム（例えば歴史的施設を使って、音楽会や手芸ワークショップを開催する等）を企画してみましょう。まちへの思いに共感してくれる人を一気に増やすことができるチャンスです。

市と一緒に  
取り組む

・市と協定を結んで道路や川を清掃したり（例えばアダプト制度を活用する等）、市と協力して違法広告の撤去をしているグループもあります。美しいまちづくり、あなたも始めてみませんか。

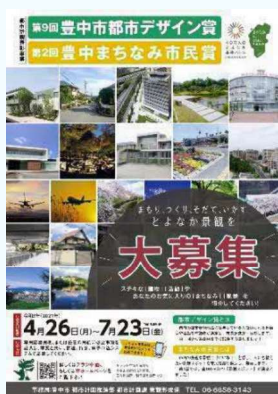


アダプト制度を活用した美しいまちづくり  
(新千里西町)

### 豊中市の事例紹介

・景観まちづくりへの意識の向上（参加型イベントの実施）（関連ページ P. 7）

市では、みなさんが「いいね！」と感じる景観（＝「好感」）を収集し、それを公表して多くの人にも知っていただき、みんなの「好感」に広めていくイベントを実施しています。イベントに参加して、身近に見つけた「好感」を発信してみませんか♪



「都市デザイン賞・まちなみ市民賞」令和3年度募集チラシ 「Instagram景観フォトコンテスト」令和5年度募集チラシ

※イベントの内容は年度ごとに異なりますので、市ホームページをご確認ください。

- 01 「好感」を見つけよう
- 02 「好感」を「共感」へ
- 03 「共感」を楽しもう
- 04 「共感」の輪を広げていこう

### ～なかまの輪を広げよう～

なかまといっしょに、まち全体に「共感」の輪を広げていきませんか。「共感」にあふれるまちにしようとする気持ちがなかまを集め、なかまとともにまち全体に取り組みを広げれば「景観まちづくり」につながりますね。

#### ●あなたの思いを地域の思いに

あなたやなかまの思いを広げ、まち全体の取り組みにしていくとより効果的です。少しずつ活動を広げ、なかまを増やしながらか、みんなの「好感」をつくっていきましょう。

あなたやなかまの熱い思いが地域みんなの「共感」となり、地域の思いになったとき、景観まちづくりがはじまります。

#### ●みんなが好感・共感が持てるのはどんなまち？

あなたの地域では、みんながどんなふうに暮らしていきたいと考えているのでしょうか？地域でまもっていききたい「好感」はありますか？また、地域で困っていることはありませんか？

みんながめざしたいのはどんなまちなのか、それぞれの思いを出し合い、対話を重ねてみんなが好感・共感の持てるまちの将来像を共有しましょう。

#### ●どうしたら実現できるかな？

みんながめざしたいまちの将来像を共有できたら、実現していくための方法を考えましょう。

まちなみについてのルールをつくることも一つの方法です。地域で合意したルールは景観形成協定や都市景観形成推進地区のほか、地区計画等のしくみを使って、みんなのルールにすれば好感・共感の持てるまちへの道筋のできあがりです。

### 豊中市の事例紹介

#### ・景観スタイリストの活躍推進（関連ページ P. 9）

市では、身近な景観を楽しんだり、共感に変える人材を育成するプログラムを実施しています。プログラムに参加して、身近な景観を知り、考え、本市の魅力を発見、再認識してみませんか♪



スポットの説明を聞きながら  
まちあるきをする様子

※プログラムの内容は年度ごとに異なりますので、市ホームページをご確認ください。

#### ・重点的な地区の景観形成の推進（関連ページ P. 12）

まちなみについてのルールづくりなど景観まちづくりに係る活動を支援しています。P. 47以降の「景観まちづくりに役立つ情報」をご参照ください。



## 4 地区で取り組む「とよなかの景観まちづくり」モデル例

地区で取り組む「とよなかの景観まちづくり」は、地区の特性や課題に応じてさまざまな展開が考えられます。ここでは、地区で景観まちづくりに取り組んでいく時の進め方のモデル例を示しています。  
**（地域の特性や課題に応じ、景観形成に関するさまざまな手法を活用しながら、住民合意のもと、まもるべきまちのルールを定めている地区は資料編 61～63 ページに掲載していますので、ご参照ください。）**

### モデル例 1

#### あこがれの住宅地をめざして ～良好な住環境をまもる～

##### こんなまちです

- ・計画的に開発されたみどり豊かでゆったりとした閑静な戸建て住宅地です。

##### こんなことが問題になっていました

- ・相続等とともに敷地が分割され、敷地内のみどりも少なくなり、まちなみにゆとりがなくなってきました。あるとき、外観に派手な色彩を使った建物が建てられてしまいました。
- ・今後は住民の高齢化が進んだり、空き家も増えてくるのではないかと心配でした。



##### こんな取り組みを始めました！

- ・若い世代の呼び込みにも配慮しながら、敷地の使い方や建物についてのルールをつくることにし、専門家の派遣等、市の支援も受けながら勉強会を始めました。
- ・市とも相談しながら、ルールは地区計画として定めてもらうことにしました。そして、地区計画をめざして具体的なルールの内容を議論し、みんなで合意することができました。いまでは閑静な住宅地としてのブランドも高まってきました。

### モデル例 2

#### 継続的な住環境の保全をめざして ～良好な住環境をまもる～

##### こんなまちです

- ・計画的に開発された閑静な戸建て住宅地で、分譲当初から建築協定が定められています。

##### こんなことが問題になっていました

- ・住民が委員会をつくって建築協定を運営し、分譲当初の住環境をまもってきました。
- ・最近住民の高齢化が進み、建築協定を運用するための委員会の役員のなり手が少なくなって活動も難しくなっていました。

### こんな取り組みを始めました！

- ・市からのアドバイスもあり、建築協定で定めているルールを地区計画として定めることをめざすことにし、勉強会を始めました。
- ・専門家の派遣等、市の支援も受けながら、地区計画の内容について議論し、ルールを合意することができました。

### 取り組みのステップアップ！

- ・地区計画をめざす取り組みを進めたことで、住民のまちづくりに対する意識も高まりました。地区計画では建物の用途や大きさ等にルールを定めましたが、建物の色彩や形態等のデザインについてもルール化を望む声が高まってきました。
- ・そこで、建物のデザイン等に関するルールについても議論し、合意した内容を都市景観形成推進地区として定めてもらうよう、市に申し出をしました。
- ・ルールを定めることで、建替えにおいても周辺に配慮した質の高いデザインが採り入れられ、落ち着いた感のある住宅地のまちなみが保たれました。

## モデル例3

### 地域の誇りを再生する ～歴史資源をいかした地域らしい環境づくり～

#### こんなまちです

- ・昔からの集落の面影を残しているまちです。

#### こんなことが問題になっていました

- ・建物の建替えが進み、みんなの記憶にある懐かしい地域の風景がなくなりつつありました。
- ・古くからの住民と、新たに住むことになった住民との間のコミュニケーションが不足し、祭り等の伝統行事も地域全体で取り組むことができなくなってきていました。



#### こんな取り組みを始めました！

- ・新旧住民の交流のきっかけもかねて「まち歩き」のイベント等を行い、まちで見つけたいいところをマップにしたりしながら、わがまち意識をそだてていくことにしました。
- ・地域の風情を大切にするため、建物の形状や色彩等デザインのルールづくりに取り組み、景観形成協定を締結しました。

#### 取り組みのステップアップ！

- ・地域の祭りを新しい住民も参加できるように開放的な運営にし、また協定の学習会等を開催する中で、これまではあまりみられなかった新旧住民の交流もしだいに活発になっていきました。

## こんなまちです

- ・駅前で店舗や事務所等が立地している商店街です。

## こんなことが問題になっていました

- ・かつてはにぎわった商店街ですが、地元のお店で買い物をする人も少なくなり、空き店舗等も見られるようになっていました。
- ・多くの人を訪れる地域の顔・玄関口にも関わらず、屋外広告物が乱立し、まちなみにも統一感が無いことが課題になっていました。

## こんな取り組みを始めました！

- ・商店街を活性化していくため、まずは商店街と市が一緒になって活性化に向けた将来ビジョンを議論しました。
- ・そして、ビジョンに基づいてみんなで取り組みを始めました。100円商店街やバル等いろんなアイデアが出され、できることから実現化していきました。
- ・にぎわいが少しずつ戻ってきたことから、今度は商店街らしいまちなみをつくらうということになりました。そこで、快適な通りのデザインや屋外広告物等のまちなみ形成に関するルールをつくることにしました。
- ・市とも協力して、商店街がめざすまちなみに応じた道路や街灯等のデザインも検討していくことになりました。



## 取り組みのステップアップ！

- ・商店街の活動をさらに広げていくため、周辺の自治会が取り組むイベント等に商店街としても協力することにし、地域全体のまちづくりという観点から取り組みを進めていくことにしました。
- ・その結果、地域住民が空き店舗で交流スペースを運営する等、地域とのつながりもこれまで以上に強くなり、地元の買い物客も増えていきました。



## こんなまちです

- ・工場や住宅が建ち並んだ地区です。

## こんなことが問題になっていました

- ・工場の周りが雑然とし、みどりも少なくまちなみにうるおいがないことが課題になっていました。
- ・また、周囲に住宅が増えてきて、住民から苦情が寄せられるケースも増え、工場が操業しにくくなってきていました。
- ・このため、事業主や従業者からも、事業所の操業環境や就業環境の改善の声が出てきていました。



## こんな取り組みを始めました！

- ・工場の事業主が集まって話し合い、事業所のまわりの清掃活動をしたり、敷地内や敷際を緑化するルールをつくることにしました。
- ・市と協働して工場の操業環境の改善や維持、うるおいのあるまちをめざすルールを地区計画として定めることにしました。

## 取り組みのステップアップ！

- ・これまで地域住民とはあまり交流がなかったのですが、工場でどんなものを作っているのか知ってもらおうと、工場見学会を企画したり、小学校の社会見学の受け入れ等をすることにしました。
- ・その結果、地域住民とのコミュニケーションも深まり、苦情等のトラブルも少なくなりました。

## こんなまちです

- ・駅に近く利便性の高い住宅地です。

## こんなことが問題になっていました

- ・駅に近いこともあって地域内の幹線道路は人通りも多く、沿道にはのぼりやポスター等が乱雑に設置されたり、違法な広告物が出される等、環境の悪化が進んでいました。

### こんな取り組みを始めました！

- 違法簡易広告物追放推進団体制度（とよなか美はり番）を活用して、自治会の有志等で広告物の撤去の取り組みを行うことにしました。
- また、アダプト制度を活用して市と協定を結び、自治会で幹線道路の清掃や緑化を行うことにしました。
- こうした活動を進めた結果、住民の意識が高まってきたので、まちなみ形成や交通に関するルールづくりに取り組んでいくことにしました。



### 取り組みのステップアップ！

- 地域の若い人たちにももっと活動に参加してほしいと考え、自治会の行事として、桜の季節に近くの公園で花見大会を開催したところ、子ども連れで若い世代の人も参加されました。終わったあとはみんなで楽しくおしゃべりしながら後片付けと公園の掃除をしました。
- それをきっかけに世代を超えた交流が深まり、道路の清掃にもたくさんの方が参加してくれるようになりました。いまでは掃除が終わったあとのお茶とおしゃべりを楽しみに参加する人もいます。

## モデル例7

### 民有地のみどりを地域の憩いの場にする ～みどりの拠点づくり～

#### こんなまちです

- 身近に豊かな自然がありゆとりのある落ち着いた戸建住宅地です。

#### こんなことが問題になっていました

- 地域内には広場やまとまったみどりがありますが、個人の所有地のため地域住民が立ち入ることができないという点が残念でした。

#### こんな取り組みを始めました！

- 地域の環境についてみんなで話し合いをしている中で、広場を地域の住民が憩える場にしようというアイデアが出されました。
- そこで、広場や周辺の土地所有者に協力してもらい、市民緑地制度を活用して地域住民の憩いの場として活用することにしました。

